

製品名: IRK14 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12754**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	47kDa

抗原情報

遺伝子名	KCNJ14 IRK4
別名	
遺伝子 ID	3770.0
SwissProt ID	Q9UNX9
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 350~430

背景

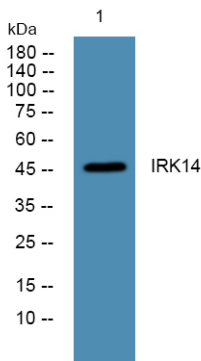
カリウムチャンネルはほとんどの哺乳類細胞に存在し、幅広い生理学的反応に関与しています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、膜貫通タンパク質であり、内向き整流型のカリウムチャンネルであり、運動ニューロンの興奮性を制御する役割を果たして

いると考えられます。[RefSeq 提供、2013 年 2 月]機能: 内向き整流型カリウムチャンネルは、カリウムを細胞外に流入させるよりも流入させる傾向が強いという特徴があります。その電圧依存性は細胞外カリウム濃度によって制御され、細胞外カリウム濃度が上昇すると、チャンネル開口の電圧範囲はより正の電圧にシフトします。内向き整流は主に、細胞内のマグネシウムによる外向き電流の遮断によって生じます。KCNJ14 は、チャンネル遮断薬であるバリウムおよびセシウムに対する親和性が低い低コンダクタンスチャンネルを産生します。類似性: 内向き整流型カリウムチャンネルファミリーに属します。組織特異性: 網膜で優先的に発現します。 ,

研究分野

-

画像データ



SW480 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、IRK14 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩